

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	健康診査事業	担当課	健康づくり課
事業内容(簡潔に)	「肝炎」や「骨粗鬆症」の早期発見等のため、節目年齢の市民に無料で検査を実施する。		

### 1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	元気で健やかに暮らせるまちづくり
	政策	一人ひとりが、いつまでも健康なまちづくり
	施策	健康づくりの推進
関連する個別計画等		根拠条例等

### 2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	○「肝炎」や「骨粗鬆症」の早期発見・治療につなげるよう、節目年齢の者を中心に肝炎ウイルス検査、骨密度の測定を実施する。
事業の手段	○肝炎ウイルス・骨粗鬆症 ・総合健診等で対象となる者に検査の機会を提供する。 ・肝炎ウイルスについては、節目年齢の対象者を無料とし、個別に勧奨通知を送付する。
事業の対象	○肝炎ウイルス ・40歳以上で過去に受診歴のない者 (勧奨対象：受診歴のない41、46、51、56、61、66歳〔年度末年齢〕)  ○骨粗鬆症 ・40、45、50、55、60、65、70歳〔年度末年齢〕の女性

### 3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
A	事業費 (千円)	4,468	4,177	3,942
財源内訳	国・県支出金	639	588	441
	その他(使用料・借入金ほか)	640	453	387
	一般財源	3,189	3,136	3,114
B	担当職員数(職員E) (人)	0.60	0.58	0.60
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	4,117	3,895	3,945
D	総事業費(A+C) (千円)	8,585	8,072	7,887
主な事業費用の説明		健診委託料、総合健診時託児謝金、総合健診会場使用料等		

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

### 4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 肝炎ウイルス検査	受診者数(人)	190	187	144
	2 骨粗鬆症検査	受診者数(人)	175	156	143
	3				
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	総合健診と同時に実施し、健診日を夏と秋に設けるほか、休日健診や託児を実施し働いている人でも健診を受けやすくなった中での受診者数となっている。			
	2	同上			
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	肝炎ウイルス検査受診率 受診率(%) (受診者/対象者)	9.4 (190/2,026)	9.6 (187/1,951)	7.7 (144/1,864)
	2	骨粗鬆症検査受診率 受診率(%) (受診者/対象者)	12.2 (175/1,430)	10.8 (156/1,441)	10.2 (143/1,407)
	3				
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	肝炎ウイルスは感染の自覚症状がないため、肝硬変や肝がんに行進する人が少なくなく、受診率は低率であるが、総合健診と同時実施という形で検査は実施しており、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により健診スケジュールが短縮(21日⇒15日)されたものの、機会の提供という意味で妥当である。			
	2	女性では50歳くらいから骨量が低下するため、40代までに骨量を一度測定し、以後定期的な推移を見るのが望ましいことから、受診率は横ばいであるが、節目年齢を対象に検診を実施することは妥当である。			
	3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)	
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	令和3年度の改善計画(今後の事業展開説明) ○前年度に引き続き、健診会場のコロナウイルス感染拡大防止に努め、事前予約制により総合健診と同時実施。また、7月・10月に肝炎ウイルス・骨粗鬆症の検査が受けられることについて、7月の肝臓週間などに合わせ、市ホームページ・SNSなど、若い方の目に留まるような媒体のさらなる活用を図る。	
過去の改善経過	改善の経過	○職域健診の受診者が把握できないため、受診率が低くなっているという問題については、平成28年度に社保等の加入者も含め事前調査を行うことを検討し、回収率の問題、データ集計にかかる費用などを踏まえた中で他市の状況を研究したところ、調査による大幅な改善につながる確証が得られなかったため実施を見送った。 ○健康づくりへの関心を高めるよう平成27年度より実施している市の「健康ポイント事業」のメニューとして「健康診断」の項目を設け、受診の意識付けを強化した。
	直近の評価結果	内部評価      令和元年度 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 外部評価      対象外 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
		改善案
課長所見	成果指標については、新型コロナウイルス感染拡大防止として実施回数の減による影響がみられるが、今後も感染対策を行い、対象者が安全に検査を受け病気の予防や早期発見、治療に繋がれるように健診についての周知を図っていく。	